

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 5 年 2 月 21 日(2023.2.21)

【公開番号】特開 2023-9081(P2023-9081A)

【公開日】令和 5 年 1 月 19 日(2023.1.19)

【年通号数】公開公報(特許)2023-011

【出願番号】特願 2022-170422(P2022-170422)

【国際特許分類】

A 4 4 C 5/10(2006.01)

A 4 4 C 5/02(2006.01)

【F I】

A 4 4 C 5/10 5 1 1 B

A 4 4 C 5/02 E

A 4 4 C 5/10 5 1 3 C

A 4 4 C 5/10 5 1 0 E

10

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 2 月 13 日(2023.2.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

この発明は、

第 1 駒片と、

前記第 1 駒片を所定方向から覆うようにして配置される第 2 駒片と、

前記第 1 駒片と前記第 2 駒片とを連結し、且つ他のバンド駒と連結するピン部材と、を  
備え、

20

30

前記第 2 駒片は、

前記第 1 駒片を前記所定方向から覆う表面保護部と、

前記ピン部材が挿入される挿入孔であって前記他のバンド駒と連結する駒連結方向と直交  
する方向に延びる前記挿入孔が設けられる連結固定部と、

前記連結固定部が配置される側の前記第 1 駒片の一端部を覆い、且つ前記駒連結方向にお  
いて前記連結固定部の厚みよりも薄い先端保護部と、を有し、

前記第 1 駒片は、

前記連結固定部に対応する装着凹部と、前記装着凹部の両側において前記挿入孔と同一軸  
上に対応して設けられ、且つ前記ピン部材が挿入する取付孔と、を有する、

ことを特徴とするバンド駒である。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 駒片と、

前記第 1 駒片を所定方向から覆うようにして配置される第 2 駒片と、

前記第 1 駒片と前記第 2 駒片とを連結し、且つ他のバンド駒と連結するピン部材と、を

50

備え、

前記第 2 駒片は、

前記第 1 駒片を前記所定の方向から覆う表面保護部と、

前記ピン部材が挿入される挿入孔であって前記他のバンド駒と連結する駒連結方向と直交する方向に延びる前記挿入孔が設けられる連結固定部と、

前記連結固定部が配置される側の前記第 1 駒片の一端部を覆い、且つ前記駒連結方向において前記連結固定部の厚みよりも薄い先端保護部と、を有し、

前記第 1 駒片は、

前記連結固定部に対応する装着凹部と、前記装着凹部の両側において前記挿入孔と同一軸上に対応して設けられ、且つ前記ピン部材が挿入する取付孔と、を有する、

ことを特徴とするバンド駒。

10

【請求項 2】

請求項 1 に記載のバンド駒において、

前記第 1 駒片及び前記第 2 駒片は、夫々異なる材料によって形成されている、

ことを特徴とするバンド駒。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のバンド駒において、

前記第 1 駒片は、合成樹脂によって形成され、

前記第 2 駒片は、金属によって形成されている、

ことを特徴とするバンド駒。

20

【請求項 4】

請求項 1 に記載のバンド駒において、

前記第 1 駒片は、前記駒連結方向の前記一端部に突出し、且つ前記装着凹部及び前記取付孔を含む突起部と、前記駒連結方向の前記一端部とは反対側の他端部に前記他のバンド駒の突起部に対応する連結凹部と、を有する、

ことを特徴とするバンド駒。

【請求項 5】

請求項 4 に記載のバンド駒において、

前記駒連結方向において、前記突起部の厚み及び前記連結固定部の厚みは略同じである、

ことを特徴とするバンド駒。

30

【請求項 6】

請求項 1 に記載のバンド駒において、

前記連結固定部は、前記第 2 駒片において前記駒連結方向と直交する方向の中間部に設けられる、

ことを特徴とするバンド駒。

【請求項 7】

請求項 1 に記載のバンド駒において、

前記挿入孔に前記ピン部材を固定する固定部材を備える、

ことを特徴とするバンド駒。

【請求項 8】

請求項 7 に記載のバンド駒において、

前記挿入孔からの前記固定部材の抜け出しを防ぐストッパ部材を備える、

ことを特徴とするバンド駒。

40

【請求項 9】

請求項 3 に記載のバンド駒において、

前記第 2 駒片は、金属粉末を焼結させた焼結金属で形成されている、

ことを特徴とするバンド駒。

【請求項 10】

請求項 1 に記載のバンド駒において、

前記第 1 駒片は、前記所定の方向へ開口するくり抜き凹部を有し、

50

前記第 2 駒片は、前記くり抜き凹部を前記所定の方向から覆うようにして配置される、  
ことを特徴とするバンド駒。

【請求項 1 1】

請求項 1 0 に記載のバンド駒において、

前記第 1 駒片は、前記くり抜き凹部内において前記くり抜き凹部から前記所定の方向へ突  
出し、前記第 2 駒片に当接して配置される支持柱を備える、

ことを特徴とするバンド駒。

【請求項 1 2】

請求項 1 ～ 請求項 1 1 のいずれかに記載されたバンド駒同士を前記ピン部材によって連  
結した、

ことを特徴とするバンド。

【請求項 1 3】

請求項 1 ～ 請求項 1 1 のいずれかに記載されたバンド駒同士を前記ピン部材によって連  
結したバンドを備える、

ことを特徴とする時計。

10

20

30

40

50